



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和元年6月27日発表
担当課:教育委員会
社会教育課
(熊谷市立江南文化財センター)

事業の名称等

上之土地区画整理地内遺跡発掘調査事業 弥生時代中期後半の大型掘立柱建物跡を確認

1. 日時 平成31年1月から3月まで (調査期間)
2. 場所 熊谷都市計画事業上之土地区画整理事業地内(熊谷市上之2573番地3ほか)
3. 事業概要

上之土地区画整理事業地内において埋蔵文化財発掘調査を実施している。平成31年1月から3月に実施した、前中西遺跡発掘調査において、弥生時代中期後半(約2000年前)の独立棟持柱形式の掘立柱建物跡(9.5m×3.7m)を検出した。これは一般的な建物ではなく、祭祀に係る象徴的な建物と考えられている。

本遺跡例は、衣川及び湧水地点近傍に立地することから、水辺の祭祀(自然信仰)に係るものと判断される。また区画である柵または堀(布掘柱穴列というべき特殊な遺構)もみられ、祭祀空間を復元するための好例である。

独立棟持柱形式の掘立柱建物跡、柵または堀による区画、祭祀対象がみられる検出状況は、県内初の事例であることから情報提供をするものである。

4. 特徴やPRポイント

独立棟持柱形式とは、母屋(身舎)から棟柱を支える柱が飛び出ており、特異な形状の極めて珍しい建物である。独立棟持柱形式の掘立柱建物跡は神奈川県小田原市中里遺跡や埼玉県熊谷市北島遺跡などの弥生時代の大規模集落にみられる象徴的な建物である。県内では3例目であるが、区画と祭祀対象を伴う事例としては、県内初である。

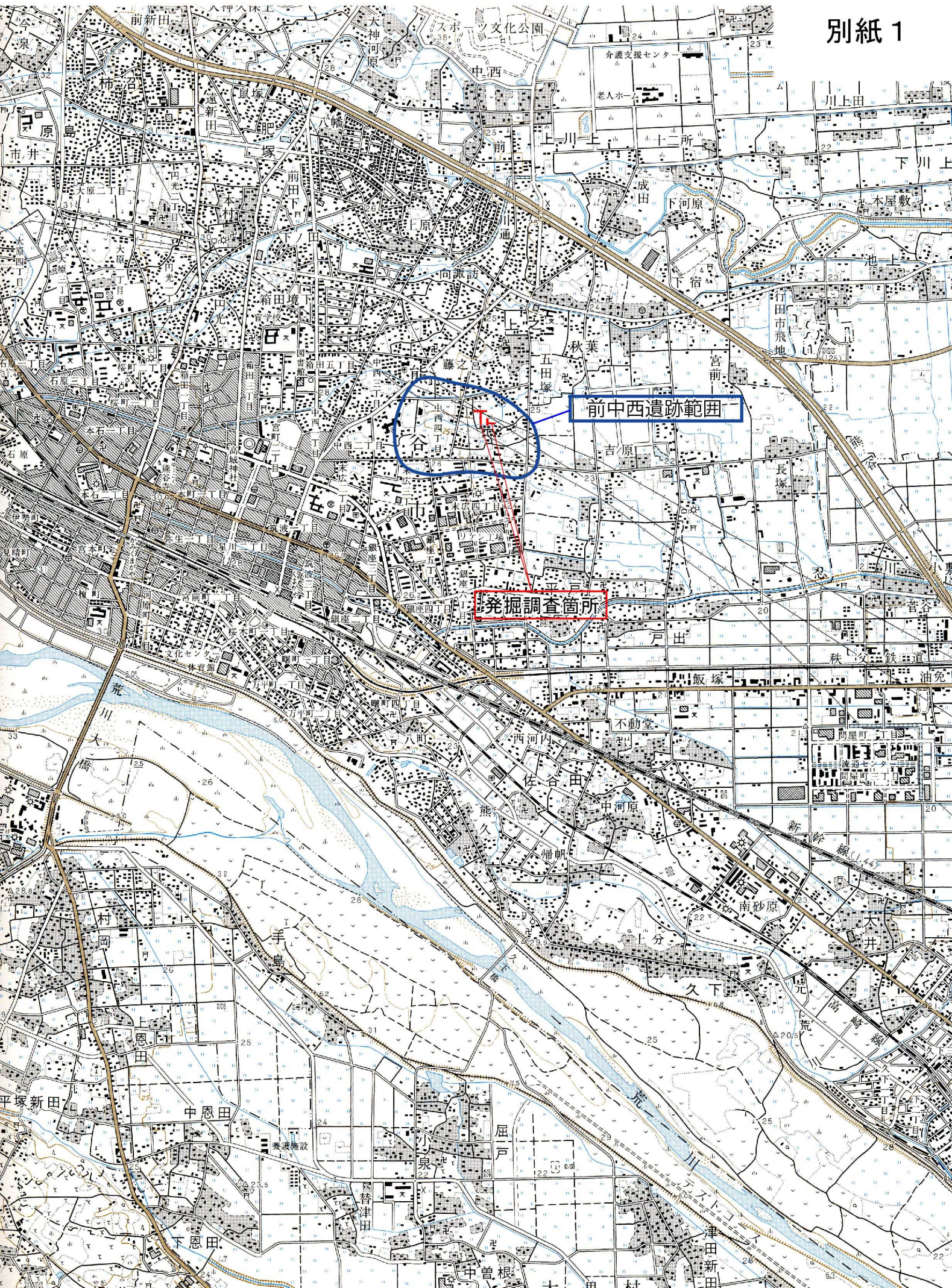
5. その他

毎年、埼玉県内の調査を対象として実施される、「第52回遺跡発掘調査報告会」において詳細を報告する。
日時:令和元年7月28日(日)10:00から 場所:県立さきたま史跡の博物館
主催:埼玉県埋蔵文化財調査事業団、埼玉考古学会、県立さきたま史跡の博物館

資料の有無 (有 · 無)

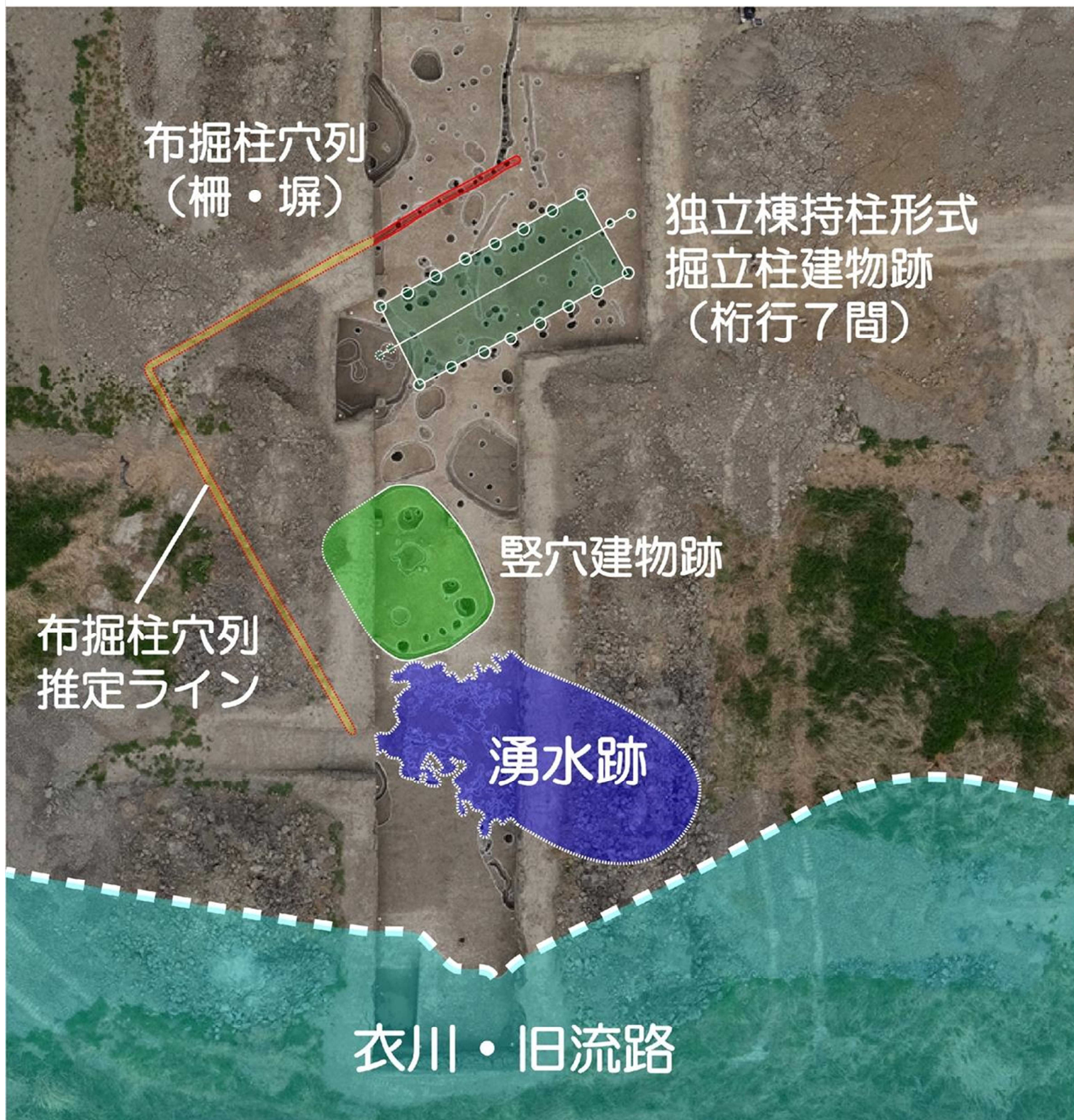
担当者 熊谷市教育委員会 社会教育課 蔵持俊輔

連絡先 048-536-5062 (熊谷市立江南文化財センター)









独立棟持柱形式の掘立柱建物跡復元例



両画像とも以下からの転載です。

池上曾根遺跡史跡指定 20 周年記念事業実行委員会
1996 『池上曾根遺跡史跡指定 20 周年記念 弥生の環濠都市と巨大神殿』

